NEC

サーバ診断カルテ　セットアップガイド（GuestOS編）

1章　概　要

2章　インストール

3章　アンインストール

4章　アップデート

5章　付　録

2026年5月

© NEC Corporation 2021-2026

目　次

目　次 2

表　記 3
本文中の記号 3
外来語のカタカナ表記 3
オペレーティングシステムの表記 3

商　標 3

本書に関する注意と補足 4
最新版 4

１章　概　要 5
1. はじめに 6
2. ユーザーサポート 9
3. 動作環境 10

２章　インストール 11
1. インストール 11
インストール前準備 11
セットアッププログラムの起動 13
セットアッププログラムの実行 14
インストール状態の確認 17

３章　アンインストール 18
1. アンインストール 19

４章　アップデート 21
1. アップデート 22
セットアッププログラムの起動 22
セットアッププログラムの実行 23

５章　付　録 25
1. 注意事項 26
2. NEC ログ収集サービス for GuestOS 設定ファイル 27
3. 利用許諾について 28
4. ログ収集タイミングの変更について 29
5. インストール時のエラーの対処 32
エラーメッセージ一覧 32
エラー発生時の対処 32

表　記

本文中の記号

本書では 3 種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。
	ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

外来語のカタカナ表記

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。ただし、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがありますが、誤記ではありません。

オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2025	Windows Server 2025 Standard
	Windows Server 2025 Datacenter
Windows Server 2022	Windows Server 2022 Standard
	Windows Server 2022 Datacenter
Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard
	Windows Server 2019 Datacenter
Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard
	Windows Server 2016 Datacenter
Windows 11	Windows 11 Pro 64-bit Edition

商　標

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

本書に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

最新版

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なることがあります。変更されているときは、適宜読み替えてください。

サーバ診断カルテ for GuestOS

1

概　要

本書では、ESX/ESXi のゲスト OS として Windows を運用しているサーバの稼働状況を示すサーバ診断カルテ for GuestOS のセットアップ方法について説明しています。

1. はじめに

2. ユーザーサポート

ソフトウェアに関する不明点、お問い合わせ先について説明しています。

3. 動作環境

サーバ診断カルテ for GuestOS が動作する環境について説明しています。

1. はじめに

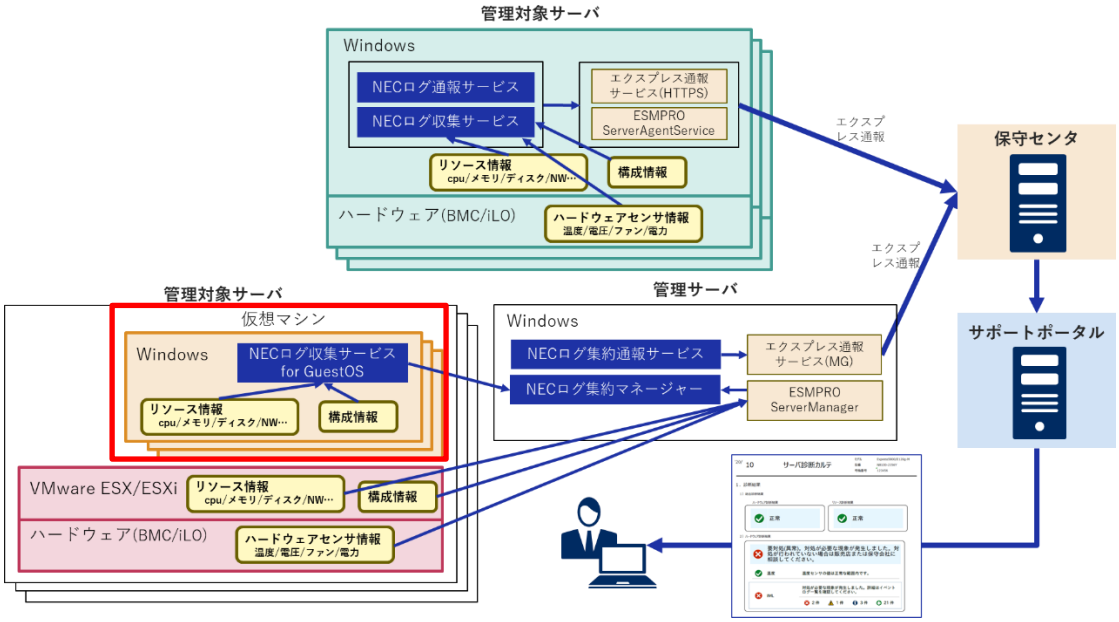
本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書の内容は、OS の機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。

OS に関する操作、不明点については、Windows ヘルプ オンラインなどをご確認ください。

サーバ診断カルテ for GuestOS は、動作中のサーバの構成情報に加え、リソース情報(CPU/メモリ/ハードディスク/ネットワーク/プロセス/サービス/ポート)といった詳細情報を定期的に採取します。その後、サーバ診断カルテ(NEC ログ集約マネージャー)を経由し、エクスプレス通報サービス(MG)を用いて保守センターに通報します。診断カルテによりシステムの稼働状況を可視化し、現状の IT 資産の活用度の把握のほか、適切なリソース増強時期などをスムーズに判断でき、より安定したシステム運用を可能にします。

本書は下図、下表の赤枠部分についてのドキュメントです。



	OS種別	インストールコンポーネント	備考
管理対象サーバ	Windows	NECログ収集サービス	・NECログ通報サービスも同時にインストールされます ・管理サーバは不要です ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド(Windows編)」を参照してセットアップしてください
	ESX/ESXi	なし	・ESX/ESXiを管理対象にするには、**管理サーバが必要**です
	Windows(仮想マシン)	NECログ収集サービス for GuestOS	・ESX/ESXi上の仮想マシンを管理対象にするには、**管理サーバが必要**です ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド(VMware ESX/ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド(GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。 ※Hyper-Vの仮想マシンには未対応です
管理サーバ	Windows Windows(仮想マシン)	NECログ集約マネージャー	・ESX/ESXi、およびESX/ESXi上の仮想マシンを管理対象とする場合に必要です ・NECログ集約通報サービスも同時にインストールされます ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド(VMware ESX/ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド(GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。

管理サーバをカルテの対象とする場合は、管理サーバにNECログ収集サービスをインストールしてください。
管理サーバ(仮想マシン)をカルテの対象とする場合は、管理サーバ(仮想マシン)にNECログ収集サービス for GuestOSをインストールし、管理対象サーバとして登録してください。

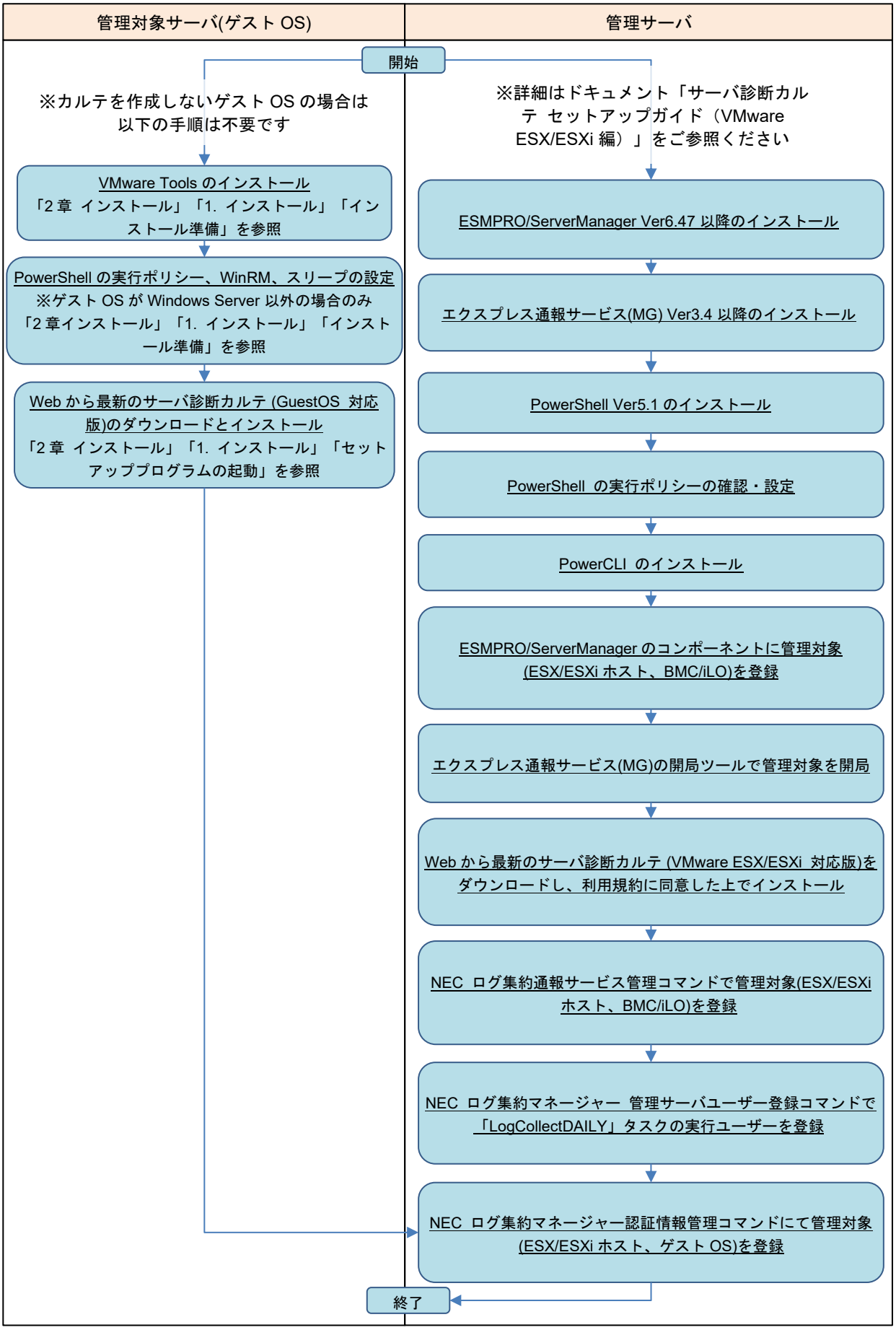
サーバ診断カルテのログを保守センターへ送信するためには、エクスプレス通報サービス(MG)(HTTPS 経由)による通報が有効であることが必要です。無効の場合はログを送信しません。エクスプレス通報サービス(MG)のご契約の詳細については、以下の Web サイトをご確認ください。

NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引き
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140110078

サーバ診断カルテ(NEC ログ集約マネージャー)は最新版を使用することを推奨します。サーバ診断カルテ(NEC ログ集約マネージャー)の設定方法は Web に公開しているドキュメントを参照してください。

サーバ診断カルテ(VMware ESX/ESXi 対応版)
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107805

サーバ診断カルテを作成するための作業の流れは、下図となります。


管理対象サーバ(ゲスト OS)
管理サーバ
開始
※カルテを作成しないゲスト OS の場合は
以下の手順は不要です
※詳細はドキュメント「サーバ診断カル
テ セットアップガイド（VMware
ESX/ESXi 編）」をご参照ください
VMware Tools のインストール
「2 章 インストール」「1. インストール」「イン
ストール準備」を参照
PowerShell の実行ポリシー、WinRM、スリープの設定
※ゲスト OS が Windows Server 以外の場合のみ
「2 章インストール」「1. インストール」「インスト
ール準備」を参照
Web から最新のサーバ診断カルテ (GuestOS 対応
版)のダウンロードとインストール
「2 章 インストール」「1. インストール」「セット
アッププログラムの起動」を参照
ESMPRO/ServerManager Ver6.47 以降のインストール
エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 以降のインストール
PowerShell Ver5.1 のインストール
PowerShell の実行ポリシーの確認・設定
PowerCLI のインストール
ESMPRO/ServerManager のコンポーネントに管理対象
(ESX/ESXi ホスト、BMC/iLO)を登録
エクスプレス通報サービス(MG)の開局ツールで管理対象を開局
Web から最新のサーバ診断カルテ (VMware ESX/ESXi 対応版)を
ダウンロードし、利用規約に同意した上でインストール
NEC ログ集約通報サービス管理コマンドで管理対象(ESX/ESXi
ホスト、BMC/iLO)を登録
NEC ログ集約マネージャー 管理サーバユーザー登録コマンドで
「LogCollectDAILY」タスクの実行ユーザーを登録
NEC ログ集約マネージャー認証情報管理コマンドにて管理対象
(ESX/ESXi ホスト、ゲスト OS)を登録
終了

2. ユーザーサポート

ソフトウェアに関する不明点は、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社、または以下メールアドレスまでお願いします。

- サーバ診断カルテサービスのお申し込みおよびサーバの設定に関するお問合わせ先
  karute-uketuke@express.jp.nec.com

- サーバ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先
  karute-tech@express.jp.nec.com

3. 動作環境

サーバ診断カルテ for GuestOS が動作する仮想ハードウェア/ソフトウェア環境は、次のとおりです。

● 仮想ハードウェア

- メモリ　1.0GB 以上
- ハードディスクドライブの空き容量　5.0GB 以上

（収集したログを保存する領域を含めます）



メモリ、ハードディスクドライブの容量については OS や関連ソフトウェアで使用する容量を除いた記載をしております。システム全体で必要となる容量については、別途各ソフトウェアの情報をご確認ください。

● 対象ゲスト OS

対象ゲスト OS については本ガイドをダウンロードしたサイトの「対象機器」の「管理対象サーバ」をご覧ください。

● 必須ソフトウェア

- VMware Tools　(VMware ESX/ESXi に同梱)

サーバ診断カルテ for GuestOS 2

インストール

サーバ診断カルテの NEC ログ収集サービス for GuestOS のインストールについて説明します。

1. インストール

インストール手順について説明しています。

1. インストール

インストール前準備

1. VMware Tools のインストール

   VMware の下記サイトを参照し、インストールを実施してください。

   https://knowledge.broadcom.com/external/article/320857/vmware-tools.html



VMware Tools のインストール後、仮想マシンの再起動が必要となります。

2. ゲスト OS が Windows Server 以外の場合にゲスト OS にて以下の設定を実施してください。

【PowerShell スクリプトの実行ポリシー設定】

1. PowerShell を管理者権限で起動してください。
2. 以下のコマンドを実施し、PowerShell スクリプトの実行ポリシーの確認してください。

   PS> Get-ExecutionPolicy
3. 実行ポリシーが「RemoteSigned」以外の場合は、以下のコマンドを実行して「RemoteSigned」に変更してください。

   PS> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

【WinRM (Windows Remote Management)の設定】

1. PowerShell を管理者権限で起動してください。
2. 以下のコマンドを実施し、WinRM を有効に設定してください。

```
PS> Set-WSManQuickConfig -SkipNetworkProfileCheck
```

【スリープ設定】

1. [スタート] → [設定] → [システム] → [電源とスリープ]の画面を開きスリープの時間を「なし」に設定してください。



スリープ状態ではログ収集処理が動作しないため、ログが取得できません。
ご利用の OS により設定箇所が異なる場合がございます。ご利用の OS のマニュアルをご確認ください。

セットアッププログラムの起動

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン
   (ログイン)します。

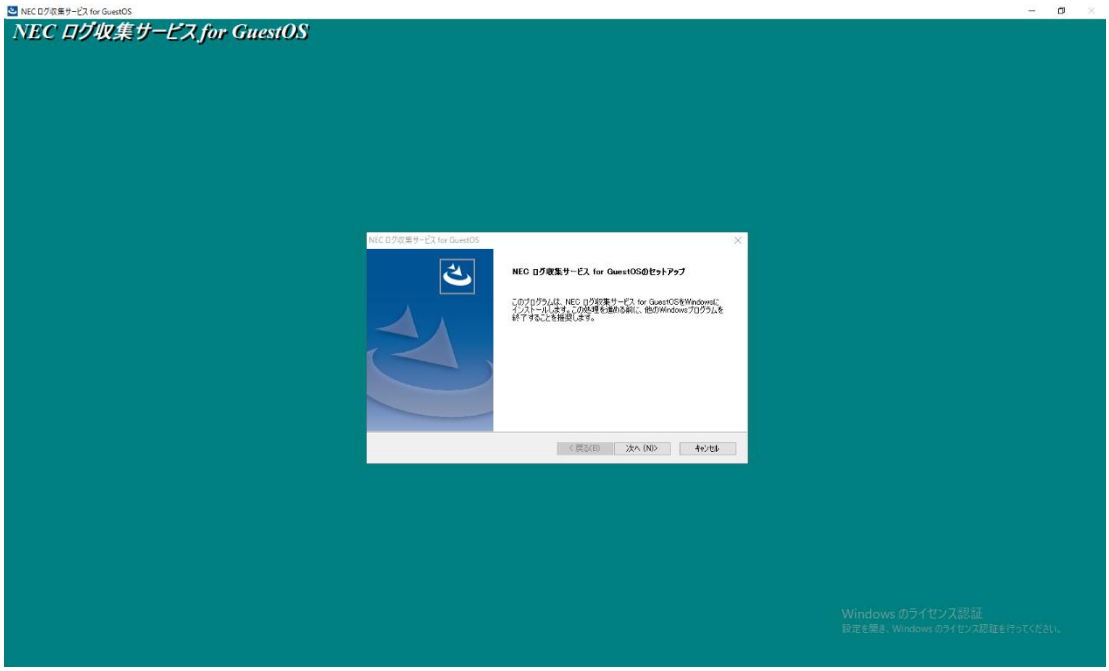
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。
   ダウンロードした MIoT_Collect_Guest_xxx.zip(xxx はバージョン)を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。

3. MIoT_Collect_Guest_xxx.zip(xxx はバージョン)のセットアッププログラム「SETUP.EXE」をダブルクリック、または実行します。
   NEC ログ収集サービス for GuestOS のセットアップウィンドウが起動します。

セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、インストールしてください。

1. 起動ウィンドウの[次へ]をクリックします。



2. サーバ診断カルテ for GuestOS の利用許諾について選択します。

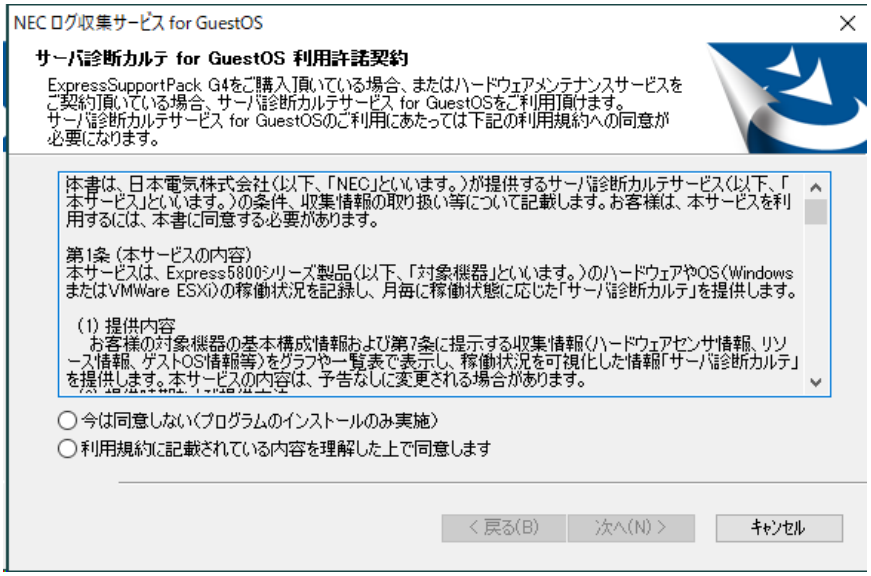
ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。

「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのインストール後にサーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。ログの収集日時を変更するには「５章 付録」の「5.ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

「今は同意しない（プログラムのインストールのみ実施）」を選択した場合は、プログラムのインストールのみを行います。

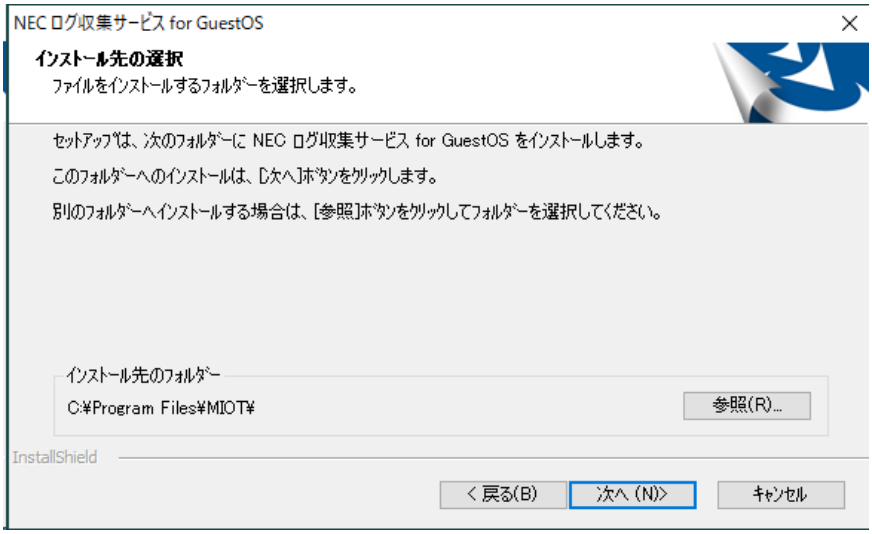
この場合、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集は行いません。

インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテ for GuestOS の利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は付録の「利用許諾について」を参照してください。



3. インストール先を選択します。

デフォルトのインストールフォルダーから変更する場合は「参照」をクリックします。フォルダーの選択後に「次へ」をクリックします。

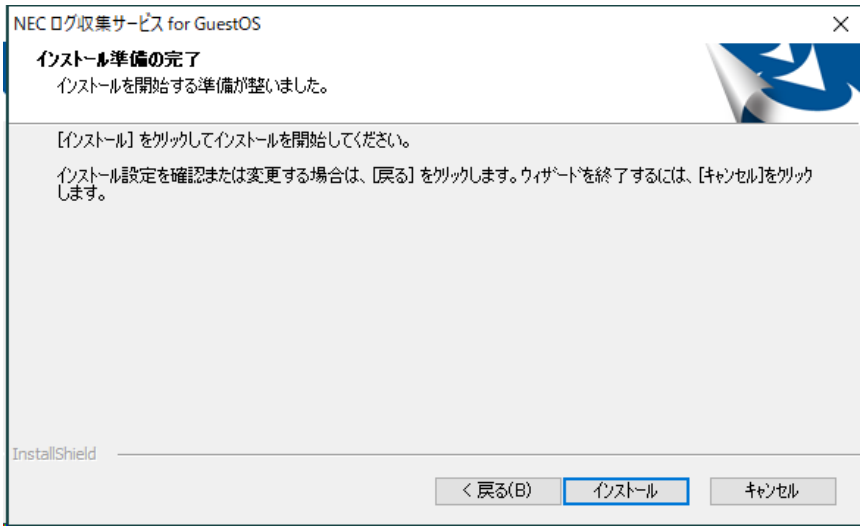


※インストールフォルダー配下に、動作中のサーバの情報を採取します。

動作環境に記載のハードディスクの空き容量のあるフォルダーを指定してください。

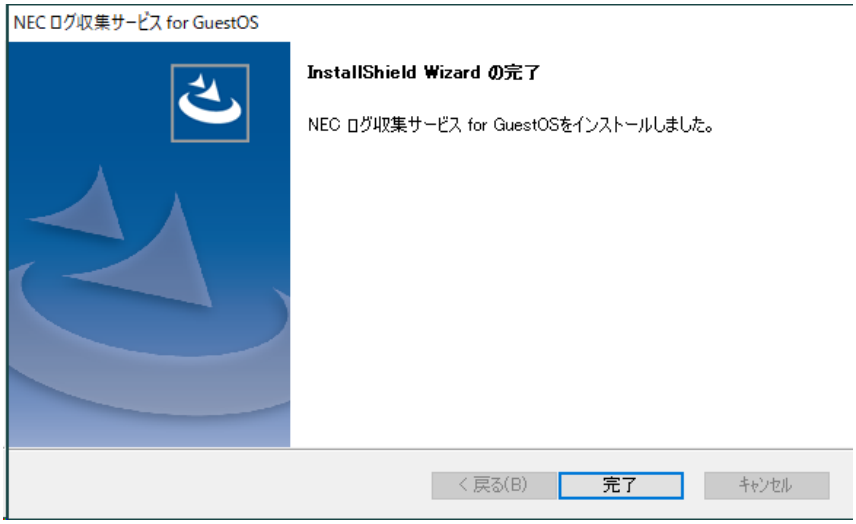
4. インストールを開始します。

「インストール」をクリックします。



5. NEC ログ収集サービス for GuestOS のインストールが完了しました。

「完了」をクリックします。



以上でインストールは終了です。

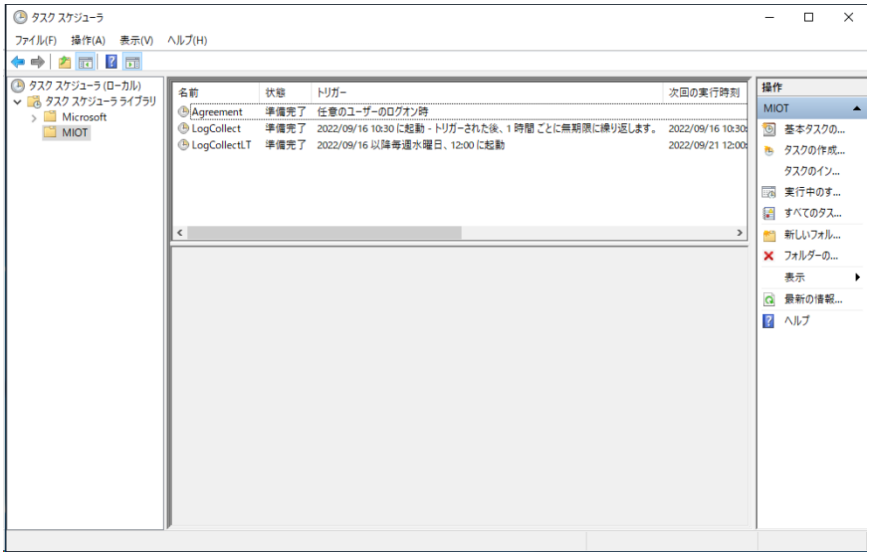
ヒント

サーバ診断カルテにソフトウェアログ情報のバックアップ ジョブ一覧を表示する為には、あらかじめ Arcserve Backup および BackupExec にて Windows イベントログへの出力設定を行う必要があります。表示方法は、「サーバ診断カルテ 活用ガイド」の「5.1 章 バックアップ ジョブ一覧の表示方法」を参照してください。

インストール状態の確認

NEC ログ収集サービス for GuestOS がインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. スタートメニュー⇒Windows 管理ツールを開きます。
2. タスクスケジューラを起動しタスクスケジューラライブラリを開きます。
3. MIOT フォルダーを選択し、LogCollect、LogCollectLT および Agreement タスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。





サーバの構成情報を収集する LogCollectLT は、毎週水曜日の 12:00 に起動するように設定されています。
システム負荷の観点などから、本設定で問題がある場合は、起動曜日、時刻の変更が行えます。手順は付録の「ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

サーバ診断カルテ for GuestOS 3

アンインストール

サーバ診断カルテ for GuestOSのアンインストールについて説明します。

1. NECログ収集サービス for GuestOS アンインストール

NECログ収集サービス for GuestOSのアンインストール手順について説明しています。

1. アンインストール

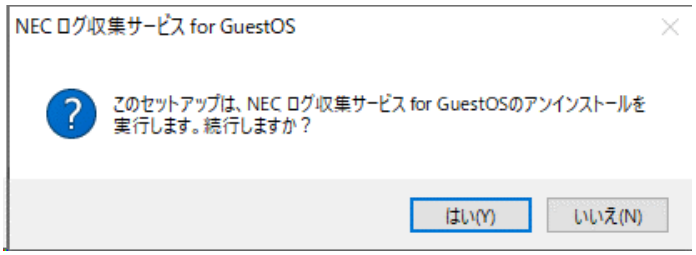
NEC ログ収集サービス for GuestOS をアンインストールする手順を説明します。
Administrator ユーザーでログインして、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をクリックします。

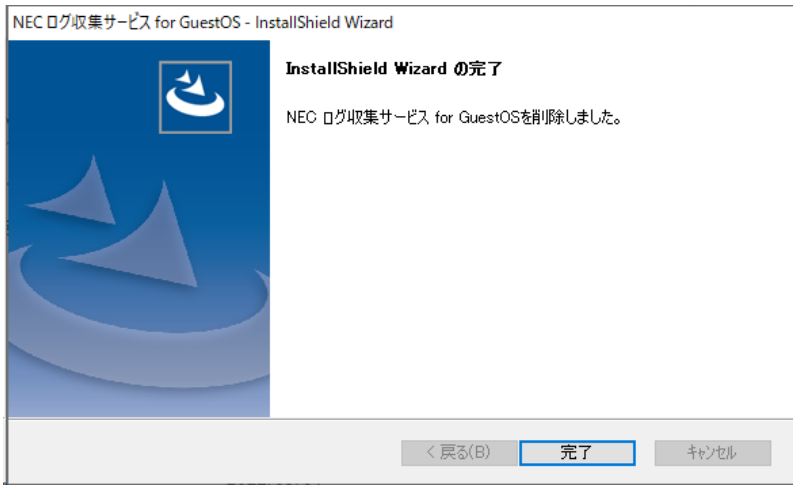
2. NEC ログ収集サービス for GuestOS を選択して[アンインストール]をクリックします。

ヒント
Server Core 環境のときは、PowerShell から以下のコマンドを実行してください。
& "C:¥Program Files (x86)¥InstallShield Installation Information¥{C549AEBC-2488-4F0B-95E6-D2C164C7EC0B}¥setup.exe" -runfromtemp -l0x0411 -removeonly

3. 削除の実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



ヒント
基本は再起動不要です。

ヒント
アンインストール後にインストールディレクトリにファイルが残る場合があります。
システムの再起動後に削除できます。

以上でアンインストールは終了です

サーバ診断カルテ for GuestOS

4

アップデート

サーバ診断カルテ for GuestOS のアップデートインストールについて説明します。

重要

・NEC ログ集約マネージャーと NEC ログ収集サービス for GuestOS はともに最新のバージョンを使用してください。
・アップデートは NEC ログ集約マネージャー、NEC ログ収集サービス for GuestOS の順で実施してください。

1. アップデート

アップデートインストール手順について説明しています。

1. アップデート

セットアッププログラムの起動

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン(ログイン)します。

2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。
   ダウンロードした MIoT_Collect_Guest_xxx.zip(xxx はバージョン)を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。

3. MIoT_Collect_Guest_xxx.zip(xxx はバージョン)のセットアッププログラム「SETUP.EXE」をダブルクリック、または実行します。
   NEC ログ収集サービス for GuestOS のアップデート確認ウィンドウが起動します。

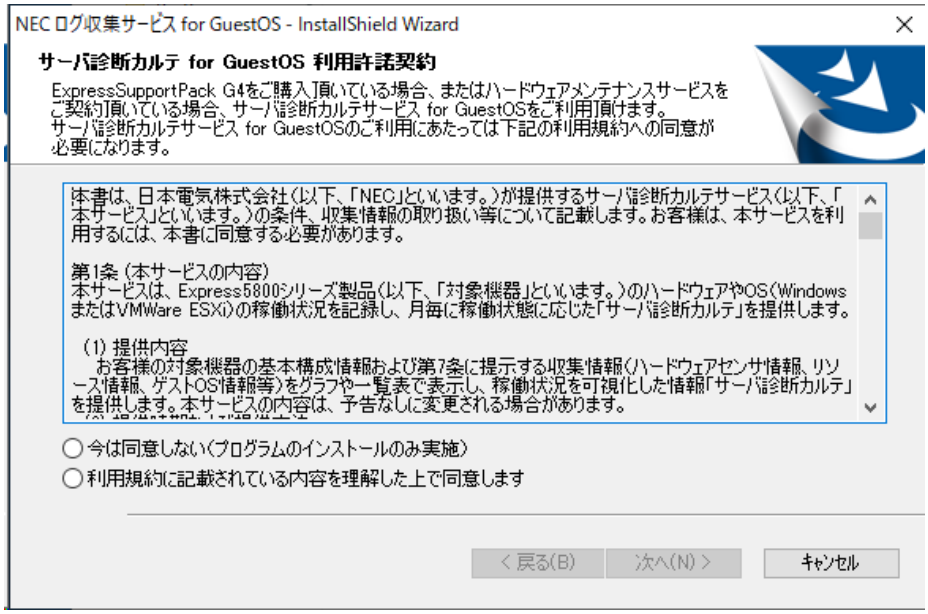
セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、アップデートしてください。

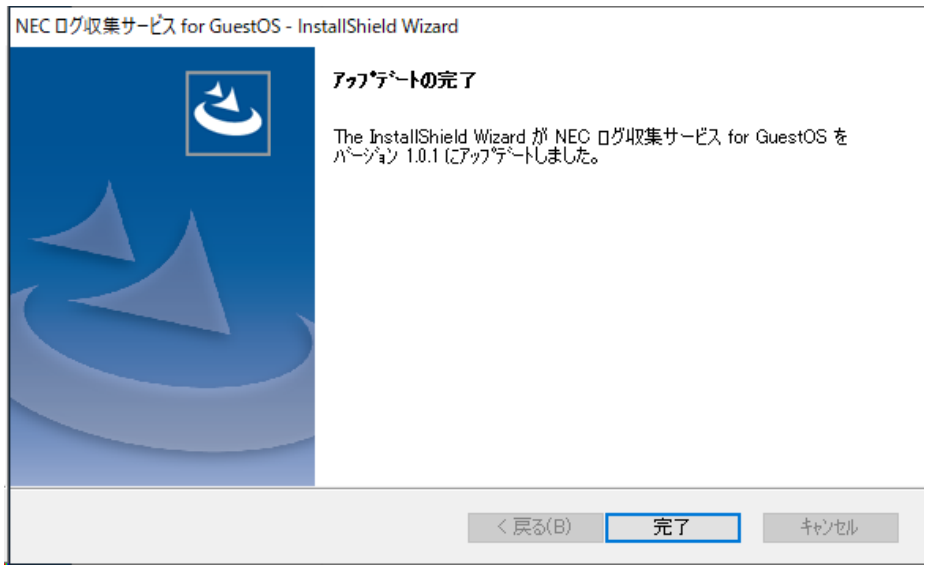
1. 確認ウィンドウの[はい]をクリックします。



2. サーバ診断カルテ for GuestOS の利用許諾について選択します。
   ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。
   「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのアップデート後にサーバ診断カルテ for GuestOS の作成に必要なログの収集を開始します。ログの収集日時を変更するには「５章 付録」の「5.ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。
   「今は同意しない（プログラムのインストールのみ実施）」を選択した場合は、プログラムのアップデートのみを行います。
   この場合、サーバ診断カルテ for GuestOS の作成に必要なログの収集は行いません。
   インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテ for GuestOS の利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は付録の「利用許諾について」を参照してください。

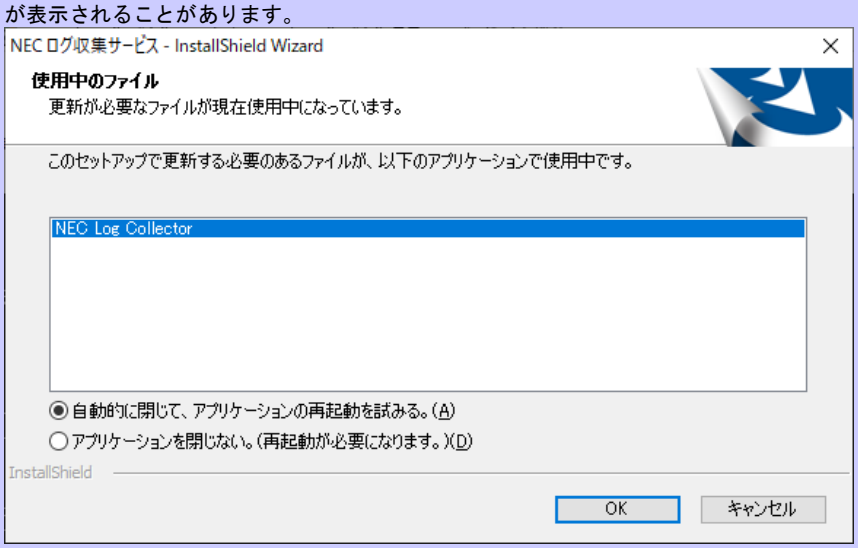


3. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



ヒント

アップデートを実行した時に、収集プログラムが実行中であった場合、以下のダイアログが表示されることがあります。



「自動的に閉じて、アプリケーションの再起動を試みる。」と「アプリケーションを閉じない。（再起動が必要になります。）」のどちらを選択しても「OK」クリック後、正しくアップデートが実行されます。「キャンセル」を選択した場合、アップデートを行わずに終了します。その際にタスクの再登録が必要となりますので、インストールフォルダー内の Add_Scheduler_MIOT.bat を実行してタスクスケジューラへのタスクの登録を実施してください。タスクの実行タイミングは、「5 章 付録」の「4.ログ収集タイミングの変更について」を参照し、環境に合わせて適宜変更してください。

サーバ診断カルテ for GuestOS

5

付　録

サーバ診断カルテ for GuestOSの注意事項、利用許諾などについて説明します。

1. **注意事項**

   サーバ診断カルテ for GuestOSの注意すべき点を説明しています。

2. **NEC ログ収集サービス for GuestOS 設定ファイル**

   NEC ログ収集サービス for GuestOSの設定ファイルについて説明しています。

3. **利用許諾について**

   サーバ診断カルテ for GuestOSの利用許諾について説明しています。

4. **ログ収集タイミングの変更について**

   NEC ログ収集サービス for GuestOSのログ収集タイミングの変更について説明しています。

5. **インストール時のエラーの対処**

   NEC ログ収集サービス for GuestOSのインストール時のエラーの対処を説明しています。

1. 注意事項

■月を跨いだ場合のサーバ診断カルテ出力について

- 更新プログラム、サービス、ドライバ、ソフトウェアの情報について、月末のインストール、アンインストール、更新を行った場合、その変更は、翌月のサーバ診断カルテに出力される場合があります。
- システム稼働時間について、月末の稼働時間は翌月のサーバ診断カルテに累積されて出力される場合があります。

■Windows のイベントログ設定について

- NECログ収集サービス for GuestOSは１週間に一度Windowsのイベントログを収集します。Windowsのイベントログが１週間以上保証されるように、Windowsのイベントログの設定を行ってください。

■NEC ログ収集サービス for GuestOS のログ収集開始タイミングについて

- サーバ診断カルテ for GuestOSの利用許諾において「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した後に、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。そのためサーバ診断カルテに表示される情報はログ収集開始以前の情報は含まれません。

■IP アドレスについて

- DHCP環境での動作は保証しておりません。DHCPは使用せず、固定のIPアドレスを設定してご使用ください。IPv6には対応しておりません。

■通報時の CPU 使用率について

- 管理サーバのCPUスレッド数が少ない場合、通報時のデータ圧縮処理にてCPU使用率が一時的に上昇する可能性があります。

■Intel VROC(Virtual RAID on CPU)について

- サーバ診断カルテは Intel VROC(Virtual RAID on CPU) に対応しておりません。このため、Intel VROCでRAIDを構成している場合、RAID情報が表示されません。

2. NEC ログ収集サービス for GuestOS 設定ファイル

NEC ログ収集サービス for GuestOS は設定ファイルによって、ログ収集の設定を変更出来ます。

設定ファイルは、インストールフォルダーの watch.conf です。設定ファイルの変更が必要な場合は、Administrator ユーザーでログインしてテキストエディタで編集してください。

設定した値が設定可能値の範囲外の場合、もしくはプロパティを削除した場合は既定値で動作します。

※本設定ファイルはサービス提供元から指定があった場合のみ変更します。

プロパティ	設定可能値	説明	既定値
start_collection	on,off	ログ収集の要否全体を指定	on
log_life_time	1-12	ローカルディスクへのログデータファイル保持期間を「箇月」で指定	12
log_save_max_size	500 以上	ローカルディスクへのログデータファイル保存最大容量を MB 単位で指定	3000
res_diskspace	on,off	Disk の空き容量(使用量)の収集要否を指定	on
res_process	on,off	プロセスのリソース情報収集要否を指定	on
res_service	on,off	サービスのリソース情報収集要否を指定	on
res_net_port	on,off	ネットワークポートのリソース情報の収集要否を指定	on
res_os_log	on,off	OS ログ(イベントログ)の収集要否を指定	on
info_os	on,off	動作 OS 情報の収集要否を指定	on
info_sas	on,off	インストールされている Server Agent Service 情報の収集要否を指定	on
info_saex	on,off	インストールされている Server Agent Extension 情報の収集要否を指定	on
info_service	on,off	動作しているサービスの情報の収集要否を指定	on
info_driver	on,off	インストールされているドライバの情報収集要否を指定	on
info_swpp	on,off	インストールされているソフトウェアの情報収集要否を指定	on

3. 利用許諾について

サーバ診断カルテ for GuestOS を使用するには、本プログラムの利用規約に同意する必要があります。
一度も本利用規約に同意の選択をされていない場合は OS ログイン時に本許諾画面が自動的に開きます。

本章では、サーバ診断カルテ for GuestOS のインストールの際に「後で確認します」を選択してインストールした場合に、後から利用規約に同意し、サーバ診断カルテ for GuestOS を利用する方法について説明します。

なお、同意に関する設定を変更する場合は、スタートメニューから本許諾画面を起動し、「同意しない」を選択してください。サーバ診断カルテに必要となるログの採取が停止します。

1. スタートメニューから「サーバ診断カルテ for GuestOS」をクリックします。



Server Core 環境のときは、PowerShell から以下のコマンドを実行して、利用許諾のウィンドウを起動してください。

& “インストールフォルダー¥agreement¥MiotCollectLicenceAgreement.exe" force

（インストールフォルダーはデフォルトから変更していない場合、「C:¥Program Files¥MIOT」です。）

2. サーバ診断カルテ for GuestOS の利用許諾のウィンドウに記載の利用規約を最後までお読みいただき、同意いただける場合は「利用規約に同意した上で利用を開始する」をクリックします。

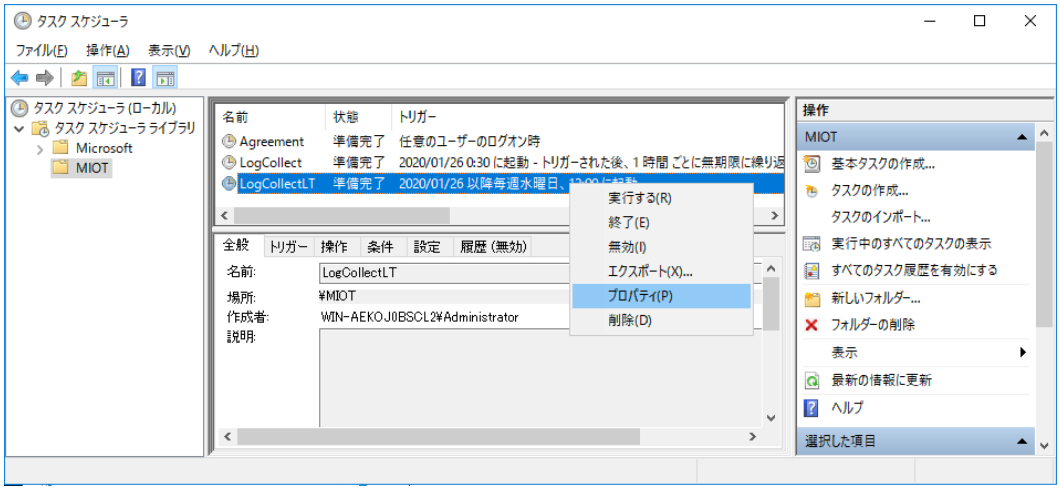


4. ログ収集タイミングの変更について

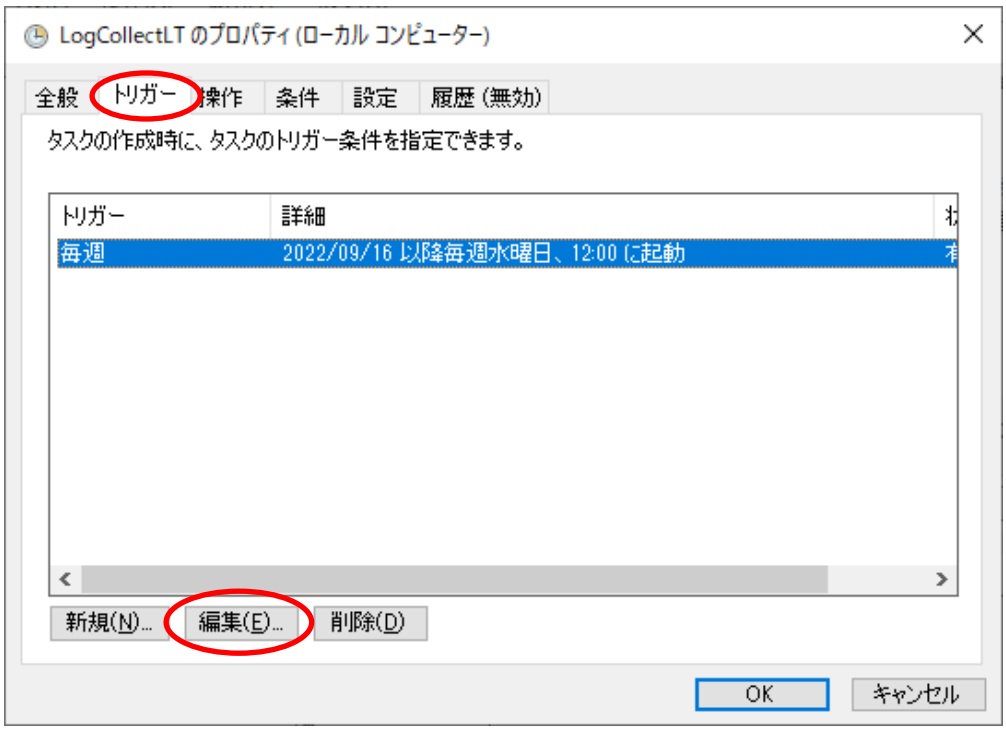
タスクスケジューラに登録されている NEC ログ収集サービス for GuestOS の設定（MIOT）のうち、LogCollectLT は、毎週水曜日の 12:00 に起動するように設定されています。

システムの運用状況に応じて、起動曜日、時刻を以下の手順で変更してください。

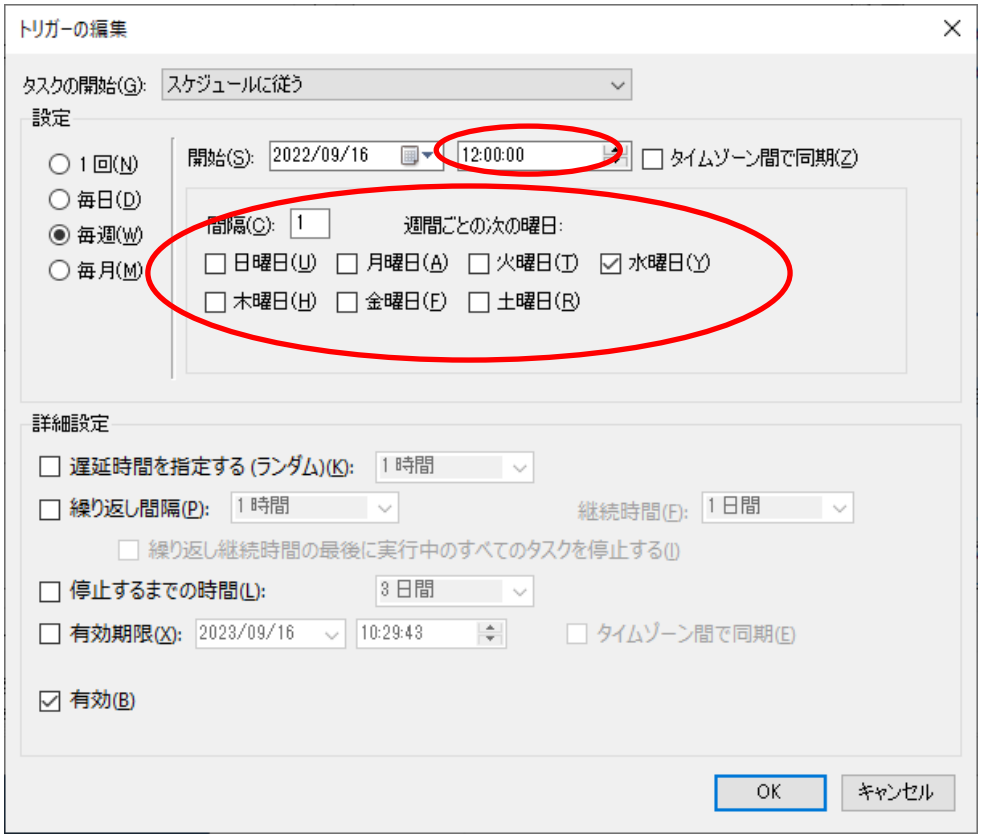
1. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プロパティ(P)」を選択します。



2. LogCollectLT のプロパティダイアログの「トリガー」タブを選択します。
3. 設定されている「毎週」のトリガーを選択し、「編集(E)」ボタンをクリックします。



4. 表示されたトリガーの編集ダイアログの「設定」フィールドの「開始(S)」の時刻、または「週間ごとの次の曜日」の曜日の設定を変更します。（それ以外の項目は変更しないでください。）



5. 「OK」ボタンをクリックしてトリガーの編集ダイアログを閉じてください。
6. 「OK」ボタンをクリックして LogCollectLT のプロパティダイアログを閉じてください。
7. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT が変更した曜日、または時刻に起動するように設定されていることを確認してください。



LogCollectLT 以外の Agreement、LogCollect の設定は変更しないでください。
また、LogCollectLT の設定も、時刻、曜日以外は変更しないでください。
変更した場合、サーバ診断カルテが正しく作成されなくなります。



設定変更により各タスクの開始時刻が重複する場合、システムが高負荷となる可能性がございます。
システムの運用状況によって設定を調整してください。

5. インストール時のエラーの対処

NEC ログ収集サービスのインストール時にエラーが発生した場合の対処方法を示します。エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

エラーメッセージ一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。
  管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。
- このオペレーティングシステムへのインストールはサポートしていません。
  サポート対象外の OS で実行した場合のエラーです。サポート OS は、「3.動作環境」を参照してください。
- この装置へのインストールはサポートしていません。
  サポート対象外の装置で実行した場合のエラーです。サポート装置を確認してください。

エラー発生時の対処

- エラー要因を排除後、インストーラを再実行してください。その場合、いったんアンインストールを要求された際は、アンインストール後に再実行してください。

サーバ診断カルテ
セットアップガイド
(GuestOS 編)

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL（03）3454-1111 （大代表）

2026 年 5 月

© NEC Corporation 2021-2026
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。